

平成20年度環境技術実証事業検討会
VOC 処理技術(中小事業所向けVOC処理技術)
拡大ワーキンググループ会合

議事要旨

平成21年2月5日
10:00～12:00
航空会館 703号室

-
1. 日時：平成21年2月5日（木）10:00～12:00
2. 場所：航空会館 703号室
3. 議題
- (1) 環境技術実証事業の概要について
 - (2) 環境技術実証事業（VOC処理技術分野）の概要について
 - (3) 事業及び対象技術分野への意見募集について
 - (4) 中小事業所向けVOC処理技術実証試験要領（第1版）の見直しについて
 - (5) その他
4. 出席検討員：坂本和彦（座長）、岩崎好陽、尾形敦、島田光正、土井潤一、中杉修身、
本田城二
- 意見者（実証機関）：
- 財団法人東京都環境整備公社 東京都環境科学研究所
（平成15,16,18,19,20年度実証機関）
 - 財団法人九州環境管理協会（平成19年度実証機関）
- 意見者（環境技術開発者）：
- 株式会社ヤマハファシリティマネジメント（平成19年度実証経験者）
（実証時は「ワイピー設備システム株式会社」）
 - 株式会社モリカワ（平成16年度実証経験者）
- 意見者（環境技術の製造・販売者）：
- 株式会社テークスグループ

5. 配布資料

資料1 環境技術実証事業の概要について

資料2 環境技術実証事業（VOC 処理技術分野）の概要について

資料3 事業及び対象技術分野に関する意見募集について

資料4

4-1 中小事業所向け VOC 処理技術実証試験要領（第1版）の見直しの方向性（案）

4-2 中小事業所向け VOC 処理技術実証試験要領（改訂案）

資料5 今後のスケジュールについて（案）

参考資料

1 御意見募集要領

6. 議事

会議は公開で行われた。

(1) 環境技術実証事業の概要について

(2) 環境技術実証事業（VOC 処理技術分野）の概要について

事務局から、資料1、2に基づき、「環境技術実証事業の概要」及び「VOC 処理技術分野の概要」を説明。また、本会合の趣旨としては、より効果的な制度の構築のための意見集約であることを説明。

(3) 事業及び対象技術分野への意見募集について

事務局から、資料3に基づき、「2. 一般への意見募集結果の概要（アンケート結果の概要）」及び「3. 専門家への意見募集結果の概要（ヒアリング等の結果の概要）」の概要を説明。その後、意見者から要望・意見の発言。主な要望・意見は以下の通り。

- 模擬ガスでの実証試験の必要性も検討されたが、実際のガスとの違いも指摘された。実験条件を明記することで、参考情報に含める方向性も検討された。
- 実証によるメリットを高めるためには普及方策が重要であり、エンドユーザーや地方自治体へ情報提供し、技術募集時にその旨技術のメーカーに情報発信することが望まれる。
- 積極的なPRとして、アジア向けに英語での実証結果の情報発信も重要である。
- 試験結果が良くない場合、今後の改良の可能性、専門家に相談できる体制が望まれる。
- 構造が違って原理が同じであればロゴマークを交付すべき。

(4) 中小事業所向けVOC処理技術実証試験要領（第1版）の見直しについて

事務局から、資料4に基づき、「試験要領の見直し」について説明。その後の主な意見は以下の通り。

- VOC 排出抑制技術、脱臭技術分野へ分野を拡大する方向性は確認された。
- VOC 排出抑制技術は、評価方法を一律に定めることが難しい。具体的な技術が出てきた段階で、実証機関と技術申請者での対応が必要である。
- 上記(3)及び(4)の要望・意見・その検討結果を踏まえて、今後、試験要領の見直しを行う。

(5) その他

事務局から、資料5に基づき、平成20年度スケジュールについて（予定）説明。

(文責：環境省水・大気環境局総務課環境管理技術室 速報のため事後修正の可能性あり)